

各戸 1 部ずつお取りください

平成 30 年度

陸前高田市の子供たちの様子について

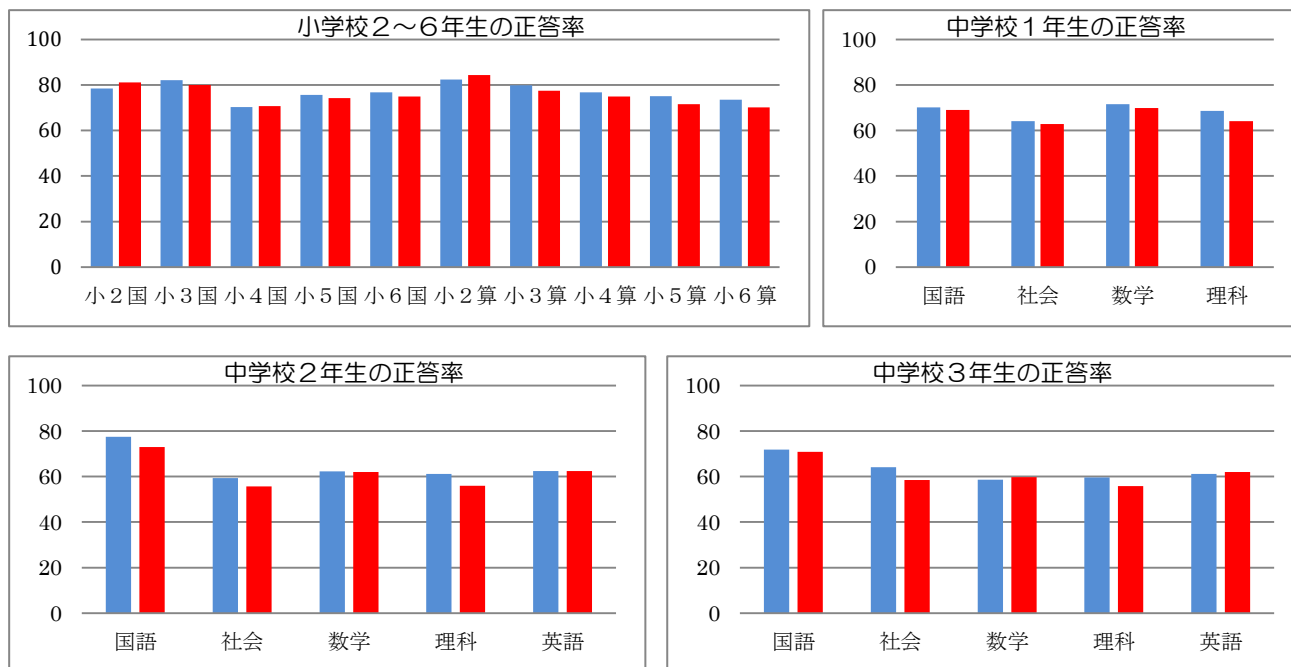
陸前高田市教育委員会
学校教育課 54-2111（内線） 2 8 5

ブログ「教育長室の窓」
<http://www.edu>

<勉強> 自分の夢をかなえるために必要な力

平成30年度標準学力調査結果の結果です。

■は市、■は全国の正答率(%)を表しています。(小学生は2～6年生、中学生は1～3年生が調査対象です)



学年によって若干の違いはありますが、小学生の学力も、中学生の学力も全国平均とほぼ同じか、上回る傾向にあり、おおむね良好な状況となっています。

今年度は、英語教育に大きな変化があり、小学校3年生から外国語活動(英語)の学習が始まりました。市としては、英語を教える学校の先生のサポート役として、ALT(英語を話す外国の方)が週1～2回各学校を訪問し、英語にたくさん触れる機会を設定しています。また、中学生を対象に英語検定の検定料補助を行うなど、目標を持って英語を学習できる環境整備に取り組んでいるところです。

また、4月に行った平成30年度全国学力・学習状況調査(小学生は6年生、中学生は3年生が調査対象)の結果からは、次のことも分かりました。

—市内の勉強が得意な子は、こんな生活をしています—

- ① 毎日、決まった時刻に起きる。
- ② 朝食をしっかり食べている。
- ③ 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしている。
- ④ 平日、家で1日1時間以上勉強している。
- ⑤ たくさん本を読んでいる。
- ⑥ 地域の人と関わる機会がある。

生活の中で、じっくり読書に取り組んで読む力を育てたり、自分で課題を見つけて取り組んだり、学校から出された課題等にしっかり取り組んでいく習慣を身に付けていきたいものです。

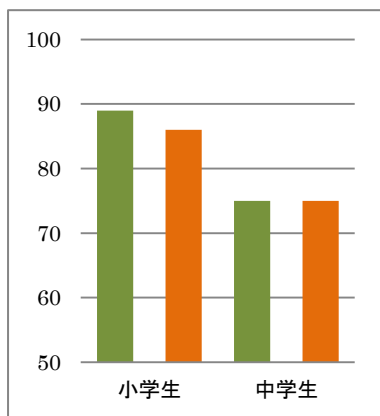
家庭、地域における子供たちの時間の使い方を、もう一度振り返ってみましょう。

<心> 人として生きていくうえでの基盤

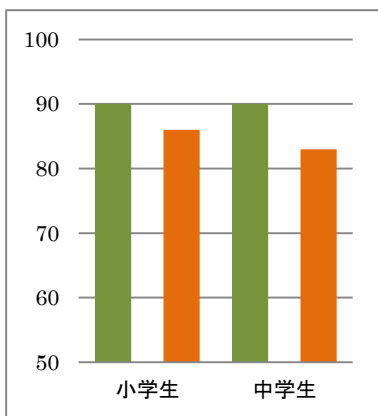
平成30年度標準学力調査のアンケート結果です。

■は市、■は全国のおよその割合(%)を表しています(小学生は3~6年生、中学生は1~3年生が調査対象です)

将来の夢や目標を持っている人



家の人と決めた約束・決まりを守っている人



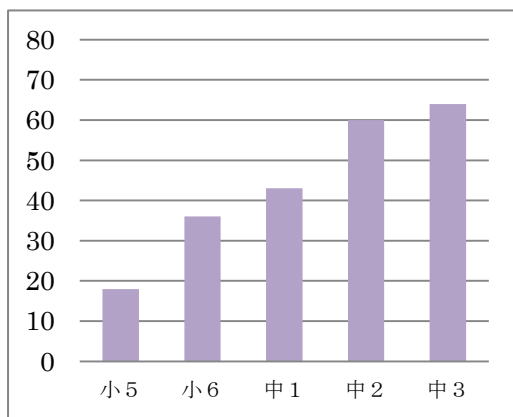
将来の夢や目標を持っている子供の割合は、学年が進むにつれて、だんだん下がっていく傾向にあります。中学校では、職場体験学習等を行い、市では、中学校2年生を対象にした職業理解学習を行うなど、キャリア教育を進め、将来の自分について考える機会を作っています。

一方で、約束や決まりを守ることに

ついては、小学生、中学生とも高い割合を維持しており、良好な傾向にあります。

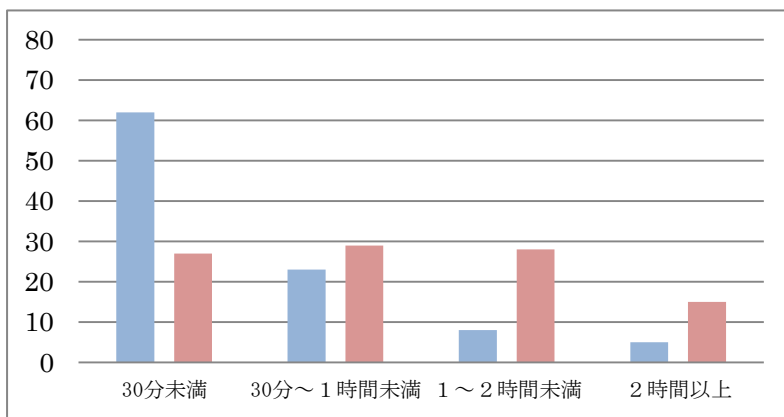
平成30年度小学生中学生携帯電話等アンケート調査の結果です。

携帯電話・スマートフォンを持っている人



■は市の割合(%)を表しています

携帯電話・スマートフォンを持っている人の中で1日の使用時間の割合



■は小学生、■は中学生の割合(%)を表しています

携帯電話・スマートフォンを、どのように使っているか調べてみると、小学生は主に電話やインターネットをするために使い、中学生は主にインターネットやLINEをするために使っていることが分かりました。そして、どちらにも共通しているのは、インターネットを使い、ユーチューブなどで動画を見ることでした。

さらに、学年が進むにつれて、1日当たりの使用時間が増えていく傾向にあります。

あれば便利な物ですが、家庭で使い方の約束を決めている割合は40%程度となっています。何のために使うのか、本当に今必要な物かどうかを家族できちんと確認することが大切です。

<健康・体力> 人生を健康に過ごすために大切なこと

平成30年度岩手県体力・運動能力調査の結果です。

■は全国平均を上回った種目を示します

	小1		小2		小3		小4		小5		小6		中1		中2		中3	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
握力		■	■	■					■	■	■	■		■				
上体起こし	■	■	■	■	■	■			■	■			■	■			■	■
長座体前屈											■	■			■	■		■
反復横跳び	■	■	■	■	■	■			■	■	■	■			■	■		■
20mシャトルラン	■		■	■	■	■					■	■			■	■		■
50m走																		
立ち幅跳び	■		■	■	■	■			■	■			■	■			■	■
ソフトボール投げ	■	■	■	■	■	■												

上の表から、本市の子供たちは、おおむね全国平均を上回る運動能力があることが分かります。一方で、「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」は、多くの学年で全国平均を下回りました。体の柔らかさや、スピード、瞬発力に課題がみられます。

また、全国調査からは、「**達成感**（ものごとを最後までやりとげてうれしかった）」「**挑戦**（難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する）」「**自己肯定感**（自分には良いところがあると思う）」という3つの心理的側面が、体力・運動習慣に良い影響を与えることが分かっています。

1日60分以上の運動をすすめる「いわて60運動」



学校は、運動できる環境が整いつつありますが、運動場面だけでなく家庭での生活活動も含めながら1日60分以上の運動をすすめる中で、子供たちの心を耕していくことが心身の健康につながっていきます。

学校・家庭・地域の皆さんで、子供たちを励ましたり温かい声をかけたりしていきましょう。